

SUPPORTERS

サポーターズ No.154 2019 秋号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ

<http://ypta.jp/>

会員数 910 名 施設数 136 (R1.8.15 現在)

「supporters (サポーターズ)」とは… 我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。

Change Of Starts

～合同学会・創立50周年に向けて～

一般社団法人 山梨県理学療法士会 会長 小林 伸一

《新副会長を加えて》

5月21日の総会では、三科貴博先生には事業・士会支部組織化担当、小林司先生には各委員会総括担当の両名に副会長に任命させていただき、副会長が4名となりました。そして7月の理事会では、私が会長業務遂行できない場合、会長代行を磯野副会長にお願いしました。組織強化を図り、より一層身近に感じられる士会活動や県民の医療・介護等に寄与する活動を念頭に、地に足を着け残の任期を全うして行きたいと思えます。引き続き士会活動へのご協力をお願いいたします。

《合同学会成功のために》

山梨県リハビリ専門職団体協議会のもと、今年度も三士会協業して活動していきますが、来年度は当士会が中心となり3年に1回の合同学会を開催いたします。現在、菊池学術大会局長のもと、準備が着々と進んでいます。テーマは「進取～果敢に挑む、新時代のリハビリテーション～」としました。狙いは、“受身にならず自ら進んで新しい知識・技術を得る”です。合同学会の成功を目指して引き続きご協力をお願いいたします。

《創立50周年を迎えるにあたり》

1971年7月に16名の会員で発足した士会は、多岐に渡る足跡を踏まえ、新たなスタートを切る創立50周年記念事業の準備に入ります。

これからも監事両名のご指導と、士会員の皆様の高所大所からのご協力をいただきながら士会発展の為、尽力していきたいと理事一同考えておりますので士会活動へのご支援を重ねてお願い申し上げます。



CONTENTS

会長挨拶	1
令和元年度定期総会報告	2
令和元年度山梨県理学療法士会交流会報告	3
令和元年度山梨県理学療法士会交流会 photo	4～5
新副会長挨拶	6
2020年 改正学校養成施設指定規則について	7

士会常設委員会活動報告	8
●認知症対策委員会 ●地域支援事業等推進委員会	
各部活動報告	9～12
●公開講座部 ●スポーツPT部 ●学術研修部	
●委託講習会部 ●地域連携部 ●調査研究部	
お知らせ	13～15
●医療保険部 ●士会学術集會部 ●SJF学会 ●事務管理局	
リレーエッセイ Part36	16～17
原稿募集	16
編集後記	17

定期総会報告



令和元年5月21日（火）に、笛吹市スコレーセンターにて117名の会員の参加と523の委任状をいただき、定期総会を開催しました。

今回の総会では、平成30年度の事業・決算報告、令和元年度の事業（案）、予算（案）の審議に加え、定款の一部変更（理事数の増員、副会長の増員）及び会員への通知をメール配信に移行するという議案についても審議していただきました。おかげさまで、提出した議案につきましては全てに承認をいただくことができました。

また、いよいよ来年に迫ったオリンピック・パラリンピックへの対応や、当士会の学術集会への取り組みなどへの発言があり、いつも以上に活発な議論をしていただいたことは、事務局としても喜ばしいことでした。

最後に、昨年度の事務管理局総務部決算についての一部不一致があり、総会にてご報告させていただきました。これにつきましては再度お詫びするとともに、再発防止に向けた取り組みを現在も進めていることを、ご報告させていただきます。

事務管理局 局長 有泉 静佳
(山梨県立あけぼの医療福祉センター：Yamanashi.pt.jimu@gmail.com)



山梨県理学療法士会 交流会 報告



令和元年6月14日（金）に、ベルクラシック甲府で令和元年度の交流会を行いました。

当日は31施設から220名（一般会員167名、新人会員46名、来賓7名）の参加をいただきました。相変わらずのベルクラシック3階ワンフロアぶち抜きの会場だったわけですが、新入会員の皆さんはどう感じたでしょうか？

圧巻だったと思います（それでも今年は例年よりもちょっとだけ参加人数が少なかったのですが）。

そしてさらに圧巻だったのは乾杯の後の場の荒れ方…ではなく、そのざっくばらんな関係ではないでしょうか。

山梨県理学療法士会はこの“顔の見える”横のつながりが強みになっています。

200名以上の会員が会場のいたるところで親睦を深め、杯を交わす、それが当山梨県士会です。

*その通りだとドラえもんも言っています（わかる人にはわかる）。

この交流会は山梨県理学療法士会会員一同が介することができる唯一の機会ですので、来年も多くのみなさまの参加をお願いいたします。

事務管理局 局長 有泉 静佳
(山梨県立あけぼの医療福祉センター：Yamanashi.pt.jimu@gmail.com)

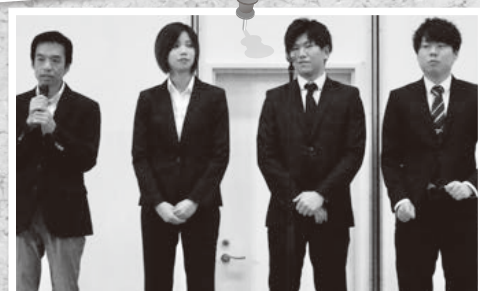




令和元年度
一般社団法人
山梨県理学療法士会
交流会
Photo



新人会員の皆様、
おめでとう
ございます。



新副会長挨拶

Message from vice president



一般社団法人
山梨県理学療法士会
副会長

三 科 貴 博

2019年度より副会長を拝命いたしました三科と申します。どうぞよろしくお申し上げます。

現在、社会局、福祉厚生局、広報局の相談支援を担う事業担当として、また主に郡内方面の県士会組織力を向上するための士会支部組織化検討委員会委員長としての役割を任されています。

数年内には会員数1,000人を擁する学術・職能団体となります山梨県士会におきまして、何よりも会員の皆様にご納得いただける運営の透明性とニーズを聞き入れた研修・情報の提供が肝要と考えております。そのためには会員の皆様おひとりおひとりとのコミュニケーションが大切であり、小林会長を筆頭とした役員・理事の皆様と会員の皆様とをつなぐファシリテーターに成れば本望です。職業柄、現場にて若手・中堅の理学療法士の方々のご意見を拝聴する機会も多々あるかと存じますので、その節には是非忌憚の無いお考えをお聞かせください。

今後ともよろしくお願いいたします。

★ お問い合わせ先：健康科学大学
(t-mishina@kenkoudai.ac.jp)

この度、一般社団法人 山梨県理学療法士会 副会長に就任しました、石和温泉病院の小林司です。

近年、法制度や地域環境が大きく変化してきています。その中において当会の役割も多岐となりニーズはさらに高くなっています。がんりハビリ、糖尿病、認知症など県士会独自の活動と3士会が並んでの活動等、会員の皆様においても動向について色々と気にされている部分もあると思います。小林会長をはじめ高村・磯野副会長のご尽力により、良くなっている部分もありますが、対応していかなくてはいけない細かい部分もあります。委員会活動の見える化や委員長の活動負担軽減等、常設委員会担当・山梨県リハビリテーション専門職団体協議会事務局長として責任を感じております。

組織は大きく変化をし、またさらなる変化が必要です。今の人達だけでなく、次世代の人たちにも士会活動を理解してもらうべく、新しい山梨県理学療法士会を創りだしていかなければいけません。そのために三科新副会長と新しい風を入れていきたいと思ひます。会員の皆様のご理解とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

★ お問い合わせ先：石和温泉病院
(houreha@isawa-hsp.or.jp)

小 林 司

来年度より「学校養成施設指定規則」が変わります。それにより「臨床実習」が変わります。「臨床実習指導者講習会」等々、ご心配されている先生もいらっしゃるのではないのでしょうか？

そこで副会長でもあり、健康科学大学の学科長でもある

高村先生に指定規則改正についてご説明いただく様、お願いいたしました。

2020年 改正学校養成施設指定規則について

一般社団法人山梨県理学療法士会 副会長 高村 浩司
(健康科学大学 理学療法学科)

このたび、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則が19年ぶりに改正されます。改正の趣旨は、高齢化の進展に伴う医療需要増大や地域包括ケアシステム構築などにより理学療法士に求められる役割が変遷されてきたことによります。臨床実習の在り方も理学療法士の質の向上を図るため見直しされました。適用は2020年度の入学者からとなりますが、臨床実習指導者の要件など大幅な変更点がありますのでここでその概要をご説明いたします。

まず改正の主な内容は、総単位数が93単位から101単位以上となり追加のカリキュラムとして専門基礎分野では「栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎」、「自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム及び多職種連携の理解」が必修となったこと。

また、専門分野では「理学療法管理学」の科目が新設となり、「医用画像の評価」と「喀痰等の吸引」を必修とすることなどが盛り込まれました。

「臨床実習」の科目に関しては、現行の18単位から20単位と2単位増加され、通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する実習を1単位以上行うことが明記されました。

また臨床実習指導者要件が大幅に変更されました。従来では、3年以上の経験を有する理学療法士が指導者要件でしたが免許を受けた後5年以上業務に従事した者で、さらに必要な講習会を修了した者と変更されました。必要な講習会とは、厚生労働省が指定した臨床実習指導者講習会(16時間)又は厚生労働省及び公益財団法人医療研修推進財団が実施する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会を指します。

臨床実習の方法に関しても実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨床実習が望ましいとされています。ここで明記した臨床実習指導者講習会は今後、県単位で開始される予定です。受講へ向けての皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

士会常設委員会活動報告

＊昨年度より設置されたため、委員会紹介も兼ねています。

認知症対策委員会

認知症対策委員会 委員長 高石 みわ 甲府城南病院
(★お問い合わせ先: takaishi@kofujonan.or.jp)

昨年度より、山梨県理学療法士会に認知症対策委員会が新たに設置されました。また、山梨県専門職団体協議会の委員会としても活動しています。活動としては、まだ模索中ですが、山梨県作業療法士会・山梨県言語聴覚士の活動に参加させていただきながら、私自身も勉強させていただいている状況です。

2025年には、5人に1人が認知症になると言われています。認知症は特別な人に起こる特別な出来事ではありません。歳をとれば誰にでも起こりうる身近な疾病と考え、関わっていくことが必要ではないかと感じています。認知症を有する人を、症状をみるだけでなく、人生経験豊富な個人として関わっていくことが大切だと思います。その際に、理学療法士として専門性をどのように活かしていけるのか?ということを考えていきたいと思っています。

現在、部員さんを募集しています。一緒に認知症について考えて頂ける方、ぜひご協力をお願い致します。

地域支援事業等推進委員会

地域支援事業等推進委員会 委員長 笠井 斗志夫
(★お問い合わせ先: 事務局 原田智史
石和温泉病院: lsawa_pt_harada115@yahoo.co.jp)

兵庫県洲本市(淡路島)視察研修報告(令和元年7月9～10日)



地域包括ケアシステムの実現に向けて、地域で高齢者を支えるPTの育成などを目的とした当委員会では、今回洲本市役所に勤務するPT 畑山浩志氏の元を訪ね、自身が生活支援コーディネーターの役割を担い、地域支援事業に先進的に取り組む様子を視察して来ました。

視察内容は、いきいき百歳体操「通いの場の公民館」と、廃校となった中学校を住民の通いの場として活用している「高齢者・障害者地域ふれあいセンター」、さらに「自立支援型地域ケア会議」でした。また畑山先生との情報交換という名の懇親会では淡路の名物を堪能しながら、地域ニーズ・地域課題全体を把握した幅広い視野の中で介護予防・ケア会議・地域づくりに関わる事の大切さをうかがう事ができました。さらに地域ケア会議では、我々PTは的確に対象者の問題点を把握し運動機能や生活機能だけでなく、地域資源などについての理解を深めた上で助言する必要があると感じました。

当委員会では、この視察の報告も兼ねた推進リーダーのfollow up研修を企画しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

各部活動報告

企画局 公開講座部発



平成30年度の公開講座が、2月24日に山梨県立文学館で開催いたしました。今回は、フリーアナウンサーで健康・防災・安全管理アドバイザーの小久保晴代さんをお招きし、「介護状態にならないために、「まずは、ここから!」～脳トレと体操で生涯現役を目指そう～」をテーマにご講演いただきました。当日は一般の方を中心に、225名と多くの皆様にご参加いただきました。

講演では、疲労回復、生活習慣病予防、健康維持、ストレス発散、脳内活性の為に、体を動かすことの必要性をお伝えいただきました。運動の必要性がわかっていても、続けることは中々難しいものですが、「午後のひと時、一つの運動から」との言葉と、実際の取り組み方に、参加者からも好評が得られました。同時に実施したロコチェックは、参加者ほぼ全員が参加されました。最後に、

公開講座にご参加いただいた皆様、また、広報活動等今回の企画にご協力いただいた皆様に、感謝申し上げます。

企画局公開講座 部長 上田 修

(★お問い合わせ先: 恵信梨北リハビリテーション病院: o-ueda@keishin-g.or.jp)

社会局 スポーツ理学療法部発

今回、韮崎高校サッカー部が茨城で開催された関東大会へ出場し、6月1日～3日までの3日間帯同してきました。主な役割は試合中における外傷等の対応と試合前後のコンディショニングです。初戦から試合中に擦過傷が発生し、出血によって選手がプレーに戻れないまま試合は続行され、早急な評価と対処が求められる非常に緊張した状況を経験しました。宿泊施設では疲労回復や疼痛の緩和を求める選手が多く、毎日遅くまで忙しく対応しました。



今大会は1戦1戦がギリギリの試合で勝利の瞬間は心がシビれる思いも経験しました。この体験はスポーツならではのものです。我々のサポートは微々たるものですが小さなプラスの積み重ねがチームの勝利へつながると強く感じました。その結果、関東では準優勝校となり、夏のインターハイでも6年ぶり30回目の全国大会出場を決めました。引き続き選手がベストコンディションでプレー出来るようサポートしていきたいと思います。



社会局スポーツ理学療法部 土橋 興太 韮崎市立病院

(★お問い合わせ先: スポーツ理学療法部長 小尾 伸二 山梨大学医学部附属病院 E-mail: sobi@yamanashi.ac.jp)

社会局 スポーツ理学療法部発

□ U14 須玉国際ジュニアテニストーナメントの帯同報告

毎年、山梨で開催されるアジアテニス連盟公認のジュニア大会です。今年は6/29～7/4の6日間で行われました。海外からは香港やネパール、インドなどの選手の参加がありました。私に対応したインド人選手は13歳の男の子で、上腕二頭筋の軽い筋損傷で試合を棄権しました。英語が苦手な私は、思い起こせる単語と身振り手振りで、負傷部位の状態や今後の対応方法を説明し、再発しないようセルフケアの方法を選手と母親にも説明したつもりでいました。しかし、



圧迫の強さ・時間や症状の変化に対する対応などが伝わっておらず、私の帰った後で腫れと痛みが強くなり電話で大会スタッフの通訳を介して対応を説明することになりました。翌日担当のPTにも



チェックいただき、問題はありませんでした。今回の一件では、自分の英語力の低さを改めて実感させられました。細かな方法やニュアンスを伝えるには英語を学び続け、出来るだけ現場へ出て英会話を実践していく必要性を痛感した大会でした。

社会局スポーツ理学療法部 森田 伸哉 健康科学大学クリニック

(★お問い合わせ先：スポーツ理学療法部長 小尾 伸二 山梨大学医学部附属病院 E-mail：sobi@yamanashi.ac.jp)

社会局 スポーツ理学療法部発

□ ユニバーシアードサッカー日本女子代表が準優勝を果たしました ～山梨学院大学女子サッカー部から2名の選手が出場～



2019/7/3(水)～7/14(日)の期間で第30回ユニバーシアード競技大会がイタリアのナポリで開催されました。ユニバーシアードサッカー日本女子代表は、全日本大学女子サッカー連盟に加盟する大学の所属選手によって編成される代表チームなのですが、私たちが関わる山梨学院大学女子サッカー部から2名の選手が選出され大活躍し、準優勝という素晴らしい結果を残しました。



普段から怪我のケアやトレーニング指導などで気軽に話をしている選手です。それが日本代表として活躍することは私にとって非常にうれしくまた誇らしくも感じ、滅多にできない経験をしました。代表選手を輩出した今年度は関東大学女子サッカーリーグ2部優勝と1部昇格を目標に掲げています。私たちも監督やコーチと情報を共有しながら、選手が最良の状態で練習や試合に臨み、なおチームが勝つために何をすべきか日々悩みながら、少しでもチームの力になれるように最善を尽くしていきたいと思います。

社会局スポーツ理学療法部 三木 伸太郎 山梨リハビリテーション病院

(★お問い合わせ先：スポーツ理学療法部長 小尾 伸二 山梨大学医学部附属病院 E-mail：sobi@yamanashi.ac.jp)

学術研修局 学術研修部発

今回は令和初の学術研修会に BiNI アプローチセンターの舟波真一先生をお迎えし、『神経学とバイオメカニクスからみる歩行』というテーマで、6月23日に講義と沢山の实技提示をいただきました。

運動制御理論を基軸にした、制御する側とされる側が存在しない、自己組織化理論を分かり易くご講義いただきました。これまでの脳卒中リハビリテーションにおける常識や科学を考慮した治療が本当か？と日々の臨床を考えさせられるエッセンスを多数いただきました。既存の概念を取り払う事、またそれらを裏打ちするバイオメカニクスと神経科学が本当に理解しやすかったです。日々の臨床を後押ししてくれる内容が盛りだくさんでした。



実技においても加速度やリズムを用いた介入はバイオメカニクスの観点から非常に興味深い内容が多くありました。

今年度も学術研修部では全4回の研修会を開催いたします。どの研修会も臨床に活かせる内容となっていますので、先生方の多くのご参加をお待ちしております。

学術研修局学術研修部 副部長 大西 健太 フルリールむかわ

(★お問い合わせ先：学術研修部部長 平賀 篤 帝京科学大学 E-mail：yptgkensyubu@gmail.com)

学術研修局 委託講習会部発



令和元年7月13日(土)～14日(日)の二日にわたり日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会「臨床動作分析(ヒューマンムーブメント)」を健康科学大学クリニックで開催させていただきました。講師は健康科学大学の高村浩司先生と山梨リハビリテーション病院の北山哲也先生、石和共立病院の名取大輔先生、あさしま相互病院の稲持裕太先生、丸木記念福祉メディカルセンターの山崎雄一郎先生に務めていただきました。受講生は35名と例年よりも多かったですが、講師とアシスタントがよく連携をとることで受講生一人ひとりに対して細やかな対応が出来ました。



細かな動作分析からグループ毎に治療介入を討議しつつ、講師やアシスタントと共に動作の効率性を高めることに挑戦しました。受講生から講師までよくコミュニケーションの取れた、日々の臨床に活かせる講習会となりました。本当にありがとうございました。

学術研修局委託講習会部 部長 清水 大介

(★お問い合わせ先：健康科学大学クリニック：kenkadai.clinic@gmail.com)

福祉厚生局 地域連携部発

今年度、地域連携部の部長を務めさせていただきます巨摩共立病院の河西と申します。

地域連携部では、①第19回地域理学療法研修会の準備・開催、②いきいき山梨ねんりんピックへの派遣（理学療法についての広報活動及び相談対応）、③地域リハビリテーション従事者研修会実行委員会へ実行委員の派遣、④地域理学療法についての情報収集と発信の4つを大きな柱として活動しております。

第19回地域理学療法研修会では、昨日調査研究部にて実施された、「介護保険サービスに関する意識調査」を基に、理学療法士として、県士会として、今後どのように連携を取っていくのか、いただいた貴重な意見を私たちの仕事にどう反映させていくのかを相談・検討出来る企画を考え中です。

日程等確認でき次第、士会員の皆様にはご案内させていただきます。

今後とも地域連携部の活動へのご協力よろしくお願いいたします。

福祉厚生局地域連携部 部長 河西 利昌
（★お問い合わせ先：巨摩共立病院：12-houriha@s.yamanashi-min.jp）

企画局 調査研究部発

調査研究部は、各部局からの依頼に応じアンケート調査と調査内容の分析を行っています。具体的には、研修会後のアンケート調査や、毎年開催される一般県民を対象とした公開講座でのアンケート調査などがありますが、その他にも県民・士会員を対象とした公益性のある調査も実施しています。

前回は、『介護保険サービスに関する意識調査』として介護支援専門員が持つセラピストに対するイメージやセラピストと上手く連携を取れているかなどの意見をアンケート調査し、士会員の皆様にフィードバックさせていただきました。現在、県士会のHPでも閲覧できますので、今後の臨床に役立ていただければ幸いです。

今年度も皆様にとって有益となる調査を検討していきます。調査して欲しいというものがあれば、是非意見をいただきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

企画局調査研究部 部長 塩原 真
（★お問い合わせ先：恵信甲府病院：keishin6@eps1.comlink.ne.jp）

お知らせ Information

医療・介護報酬に関する基礎的研修会のお知らせ

平成30年度の診療報酬改定では医療から介護へのスムーズな移行の推進が示され、我々理学療法士が医療・介護の報酬制度を併せて知っておくことはもはや必須条件であり、「制度の話は難しい!」、「管理者が知っていればいい!」、「自分の職場では関係ない!」では通用しない時代となっています。

そんな皆様のために福祉厚生局では今年度も医療・介護報酬に関する基礎的研修会を下記日程にて開催いたします。この研修会は経験年数1～3年目を主な対象とし、報酬制度に対する苦手意識を解消できるような基礎的な内容となっています。平成30年度の改定のポイントや令和2年度の改定に向けたトピックスも出来る限りお伝えしたいと考えております。この機会にぜひご参加ください。

【テーマ】「基礎から学ぼう!医療・介護保険制度」
【日時】10月25日（金）18:30～20:30
【場所】山梨県青少年センター

○連絡先 福祉厚生局医療保険部 部長 雨宮 直樹 山梨県立中央病院
amemiya-agve@ych.pref.yamanashi.jp

第23回山梨県理学療法士会学術集会開催 ならびに託児室開設のお知らせ

特別講演に文京学院大学の柿崎藤泰先生をお招きし、テーマは「胸郭運動システムの再建法－基本的な考え方から介入におけるポイントまで－」と題し、ご講演を行っていただく予定です。また、お子様連れで安心して大会に参加できるよう、会期に合わせ、託児室を開設致します。

【日時】令和2年1月12日（日）
【会場】アピオ甲府 タワー館
【プログラム】特別講演、一般演題、シンポジウムなどを予定しています。
【大会長】甲府城南病院 齋藤智雄 先生
【参加申し込み】山梨県理学療法士会のホームページにて
11月中旬から事前参加申し込みを予定しています。

【託児室開設】○申込方法
件名を「託児申し込み」とし、下記必要事項を記入の上、
令和元年12月12日（木）までに E-mail（PC）にてお申し込み下さい。
E-mail 以外での申し込みは下記電話番号にご連絡ください。

託児室申し込み必要事項

- ①申込者氏名
- ②所属（施設名 or 自宅）
- ③連絡先住所、携帯電話番号、E-mail（PC）
- ④お子様の年齢と人数
- ⑤その他、ご要望等

申し込み・問い合わせ先
学術大会局士会学術集会部
部長 宮野 将貴 甲府城南病院
E-mail shikaigakujuutu.yamanashi@gmail.com
TEL 055-241-5833（リハ部直通）



ちょっと 一息

7月前半に当会のホームページをみた方はご存知でしょうが、5月の拡大理事会でアピール動画を撮影しました。実はNG連発でtake5まで撮りました。



Synovial Joints Facilitation SJF 学会 甲信越支部

～山梨地区 定期勉強会のご案内～

SJF 学会甲信越支部山梨地区では定期勉強会を開催しております。経験・未経験は問わず、皆真剣に取り組んでおります。興味のある方等、沢山の皆様の参加をお待ちしております。

<定期勉強会詳細>

【開催日】 毎月第3水曜日 PM7:00～
【会場】 一宮温泉病院リハビリテーション室
【参加費】 100 円（施設使用料として）



※勉強会の様子です！開催日時等は当ホームページよりご参照ください。

○ 問い合わせ先：東甲府医院（SJF 学会甲信越支部 事務局）
山梨県甲府市桜井町299／ TEL：055-222-2000 担当：事務局長 PT 橋本

<本年度の勉強会予定>

日程	テーマ
4月	最新技術
5月	Introduction
6月	腰仙、腰椎、第12助椎
7月	頸椎、胸椎
8月	胸肋、肋横突
9月	肩、肩鎖、胸鎖
10月	肘部、手部
11月	下肢①(股、膝、足部)
12月	下肢②(股、膝、足部)
1月	
2月	症例検討
3月	まとめ



学術大会局合同学術大会部よりお知らせ

2020年12月5、6日開催予定をしております
第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の進捗状況をお知らせ致します。

【テーマ】 進取 ～果敢に挑む新時代のリハビリテーション～
【特別講演講師】 石川朗先生（5日）、森岡周先生（6日）
【市民公開講座】 岩崎由純先生（6日）～ペップトーク

以上の豪華講師陣をお招きすることが決まりました。

今後の動きとしましては、運営部員の募集、演題募集をしていきます。
募集がかかりましたら、是非ともご協力いただきたいと思います。
皆様のお力をお借りし、合同学術大会を盛り上げていきたいと思ひます。
宜しくお願い致します。

○連絡先 学術大会局合同学術大会部 部長 清水 一彦 山梨リハビリテーション病院
3ws3zm@bma.biglobe.ne.jp



事務管理局からのお知らせ

◆ 会員情報の変更手続き（異動、休会、退会、会費納入方法等）について

（公社）日本理学療法士協会 HP の「マイページ」から手続きを行ってください。
マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行した ID とパスワードが必要です。
「ID やパスワードがわからない」、「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、
お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。
（公社）日本理学療法士協会 TEL：03-5414-7911

*会員情報につきましては、（公社）日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理
されているため、県士会単位では対応ができません。

◆（公社）日本理学療法士協会の年会費割引制度の案内

日本理学療法士協会には年会費の「育児休業割引」、「シニア割引」、「海外会員割引」が
あります。詳細は日本理学療法士協会 HP 「年会費」をご覧ください。

◆ 会員の慶事及び弔事があった場合について

当士会では、会員の慶事及び弔事があった場合、慶弔規定に則り対応させていただきます。
会員の慶事及び弔事があった場合は、当士会 HP の「お問い合わせフォーム」からご連絡
頂きますようお願いいたします。

◆ 事務管理局への問い合わせについて

山梨県士会 HP の「事務管理局への問い合わせ」メールフォームからお願いいたします。
インターネット環境がない会員の方は、
山梨県立あけぼの医療福祉センター 療法科内 担当：有泉
TEL：0551-22-6112（療法科直通）
FAX：0551-22-6184 までお願いします。

◆ 会員への研修会の通知や各種の案内文書を郵送から メール配信に変更することについて

現在当士会では研修会の通知や情報などは各施設、自宅会員あてに郵送で行っていますが、
その郵送にかかる経費は年間で 40 万円～ 50 万円（印刷費、封筒代、紙代も含む）になっ
ています。

そのため経費削減と郵送にかかる作業負担軽減を図るため、メール配信に移行すべく準備
を進めております。

今後も HP などを通して会員のみなさまには状況をご報告していきますので、ご理解とご
協力をお願いいたします。



途絶えることのないバトンを君に /

リレーエッセイ

『リレーエッセイ』
とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

Part 36-1

韮崎市立病院 神谷 文香



帝京医療福祉専門学校 2 期生繋がりです。甲州リハビリテーション病院の丸茂高明さんからバトンを受け取りました、韮崎市立病院の神谷文香です。

昨年 11 月から、地域包括ケア病棟の専従として働いています。

日々、電子カルテを使っていると、パソコンの変換にうつく時もありますが、これは…と面白い変換もあるのでコレクションしています。その一部を紹介！

→「歌詞」「要物字」「良化し」「体換金」「手いくつ」

すぐどんな言葉の変換かわかりましたか？

自分の変換だけでなく、他の職種の方の誤字を見つけてはクスッと笑って楽しんでいます。

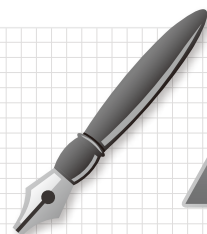
次のバトンも、同期つながりで、山梨県庁の白倉ゆかり先生お願いします。

原稿を募集しています！

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

● 問い合わせ先：広報局 会報部 宇月正明
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL：0553-26-4126 FAX：0553-26-4366
E-mail：kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



！
注意

内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※ 第155号発行は、
2020 年 3 月を予定しています。

原稿の締め切りは

1月中旬です。

リレーエッセイ

Part 36-2

塩川病院 中部 大也



皆様こんにちは。赤坂台病院の堀内聖也先生からご紹介頂きました塩川病院の中部大也です。私はマラソンや中長距離種目の大会を現地に出向いて観戦することが趣味です。9 月にはマラソンのオリンピック代表選考会（MGC＝マラソングランドチャンピオンシップ）が都内で開催され栄えある男女の日本代表選手が決まります。精鋭の活躍に注目したいと思います。

山梨県内に目を向けると県内各地でも東京五輪前の各競技団体の代表選手団による事前合宿地となっておりますし、来年 6 月にはギリシャアテネから空輸された聖火が本県に到着し、聖火リレーが開催され五輪モードが最高潮となるでしょう。その前に私は敗者復活戦である観戦チケットの追加抽選の当落が気がりではありますが（笑）2020 年東京五輪の成功と代表選手のご活躍を心より祈念しながら筆を置きたいと思います。

次は春日居サイバーナイフリハビリ病院の小林公司先生にバトンを託したいと思います。

編集後記



新入会員の皆さま、ご入会ありがとうございます。今後とも、よろしくお願いいたします。

近年、秋号で企画されていた、「新人理学療法士・転入会員紹介」ですが、個人情報保護法を拡大解釈いたしまして、終了させていただきました。楽しみにされていた方もおられたでしょうが、ご理解いただきたく存じます。

さて令和元年スタートとなりました。世間では嫌なニュースも飛び交っていますが、良いニュースもありました。陸上競技100m走ではサニブラウンさん、小池祐貴さんの9秒台。サッカーでは久保健英さん。大谷翔平さんのサイクルヒット。全英 AIG 女子オープン優勝、渋谷日向子さん。世界での活躍もさることながら、小泉進次郎議員と滝川クリステルさんの結婚・妊娠の発表。びっくりしました。これからはお二人、お忍ぶことなく、裏「お・も・て(表)・な・し」ですね。お粗末。

会報誌発行の際も引き続きご協力お願いいたします。

宇月 正明

- 【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会
【代表】 小林 伸一
【企画・校正】 宇月 正明 古澤 淳一 進藤 圭一郎 立澤 俊貴 一瀬 智之
【編集・印刷】 株式会社 たけまる
【会報部】 〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
医療法人 景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp

